

気候情報

2008年6月の日本の天候

- 東日本太平洋側と西日本日本海側で多雨，東日本日本海側と北日本で少雨
- 西日本で日照時間かなり少ない
- 沖縄・奄美で高温

6月の天気概況

前線が日本列島南岸に停滞しやすかったことや低気圧の通過により，東日本太平洋側から西日本にかけては瀬戸内海沿岸など一部を除き，降水量は平年を上回る場所が多く，特に九州地方や関東甲信地方では降水量が多かった。また，日照時間は東海地方から西日本にかけて少なく，特に西日本ではかなり少なかった。一方，前線や低気圧の影響が小さかった東日本日本海側と北日本で降水量が少なかった。前線は日本列島の南岸に停滞することが多かったが，東・西日本では寒気の影響は小さく，また，北日本では高気圧に覆われて気温が上がるなど，月平均気温は平年並だった。沖縄・奄美では，中旬以降太平洋高気圧が強まったため，中旬の終わりに平年より早く梅雨明けとなり，月平均気温は高温となった。高気圧の強まりに伴い，梅雨前線が本州付近まで北上し，北陸地方と東北地方は平年より遅く梅雨入りとなった。中旬には梅雨前線の活動が活発となり，九州地方を中心に大雨となり，下旬には低気圧や前線の影響で，東日本太平洋側で大雨となったほか，北日本の一部でも局地的な大雨となった。また，月末には，少雨が続けていた東日本日本海側でもまとまった雨が降った。

上旬：梅雨前線は沖縄・奄美から本州の南海上に停滞した。前線や低気圧，台風第5号の影響で東日本以西では曇りや雨の日が多く，東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では多雨となった。東・西日本では前半を中心に寒気が南下した。北日本では，天気は数日の周期で変わったが，旬の後半は東海上で高気圧が強まり，北海道を中心に高温となった。

中旬：本州付近を高気圧が通過し，梅雨前線は本州の南海上に停滞した。東北地方から東日本を中心に，晴れの日が多く，梅雨前線の活動が活発となった九州地方で大雨となった。日本の南海上で太平洋高気圧が強まり，旬の終わりに梅雨前線が本州付近まで北上した。沖縄地方では平年より早く梅雨明けとなり，北陸地方と東北地方で平年より遅れて梅雨入りとなった。

下旬：梅雨前線は本州付近から本州の南海上に停滞し，東・西日本では曇りや雨の日が多かった。西日本の一部や東日本，北日本太平洋側の一部では大雨に見舞われた。一方，北日本日本海側は，高気圧に覆われ，晴れの日が多かった。

6月の気候統計

月平均気温：沖縄・奄美で高かったほかは全国的に平年並だった。

月降水量：東日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。一方，北日本と東日本日本海側では少なかった。西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

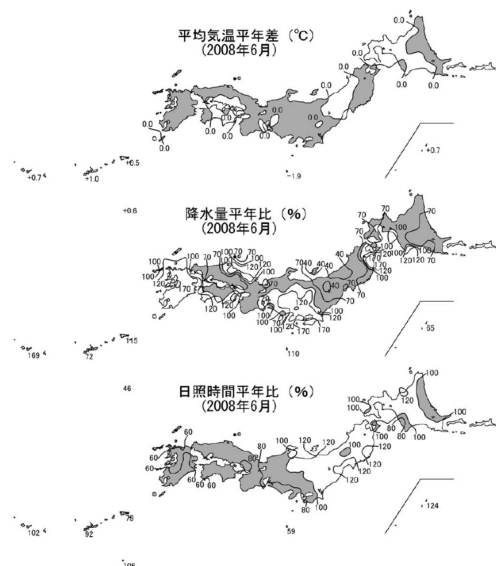
月間日照時間：西日本でかなり少なかった。九州地方と四国地方では平年の60%未満となったところがあった。北日本，東日本，沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

6月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から (mm)
八戸 263.5 館山 398.0
- ・月降水量少ない方から (mm)
若松 40.5 酒田 27.0
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
油津 62.5

2008年6月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は，平年より低い(少ない)地域を示す。